

美濃市 横断歩道橋長寿命化修繕計画

1. 横断歩道橋長寿命化修繕計画とは

横断歩道橋は、経年変化に伴い劣化や損傷が生じます。それらが進行して大きな被害が発生しないよう、点検と修繕工事(塗装塗替えやひび割れの補修など)を行う必要があります。

本計画は、通行の安全性を確保し効率的な維持管理ができるよう、点検や修繕工事などの予定を示した計画です。

2. 美濃市の横断歩道橋概況

美濃市は長良川や板取川の清流が市域を縦断し、豊かな水に恵まれた、緑豊かな自然環境を有しています。市の北中部では、河川に沿って田園集落が形成されており、南部では、低地に広がる田園と、東海北陸自動車道など開通によって、新興住宅地や工業団地などが形成されています。

市が管理する横断歩道橋は1橋あり、建設から20年以上経過しています。今後、老朽化が進むと修繕に多額の費用がかかる可能性もあり、計画的な維持管理とライフサイクルコストの縮減を目標に長寿命化計画を策定します。定期点検サイクルや診断の結果を踏まえて実施する修繕等を考慮し、計画期間を令和2年度から10年間とします。

対策の優先順位は、Ⅲ判定等の横断歩道橋の中で、迂回路がない、交通量の多い、橋長が長い、耐震補強を要する等を勘案し修繕計画を立てています。

3. 新技術等の活用方針

コスト縮減や維持管理の効率化を図るため、国土交通省「新技術情報提供システム(NETIS)」を活用する等、維持管理に関する最新のメンテナンス技術の積極的な活用を検討します。

4. 費用の縮減に関する具体的な方針

管理する横断歩道橋について、機能縮小、複数施設の集約化などの検討を行い、点検・修繕に係る中長期的な費用の縮減を検討し、維持管理のさらなる高度化、効率化を目指します。



かえで歩道橋

